



The Project for Increasing Farmers Households' Incomes  
through Strengthening Domestic Rice Production in Timor-Leste



## 民間セクターおよび政府(NLC)による籾買取りが継続!

### 成果 1: 栽培技術



< マリアナでのFFSワークショップ >

#### 1. Farmers Field School (FFS) 乾期作

マリアナIとブルトにおいて農業普及員と共に、以下のようにFFSワークショップを実施した。7月のテーマは、移植と除草。

サイト	実施日	内容	参加農家数
ラホメア村, マリアナ	7月8日	第3回: 除草	12
ライフン村, マリアナ	7月7日	第3回: 除草	10
ラレイア, ブルト	7月24日	第2回: 移植	3
ベマセ, ブルト	7月6日	第3回: 除草	13

#### 2. 播種後50日目の生育調査

マリアナIの26名およびブルトの14名の農家に対するは播種後50日目の生育調査を実施した。ブルトでの害虫(主にカメムシ)被害やマリアナIでの灌漑水不足が観察された。

### 成果 2: 灌漑管理



< ブルトでの農家台帳作成 >

#### 1. 現状把握調査

ブルトとマリアナIの両灌漑地域での現状を理解するための調査では、7月末日までに計165名の関係者へのインタビュー調査が終了し、調査の終盤を迎えた。全てのインタビュー調査が終了した後、調査結果に基づき課題分析およびロードマップ作成を行う予定である。

#### 2. 農家台帳作成 (Farmers Register List: FRL)

ブルト灌漑地域での農家台帳作成のための具体的な情報収集作業は7月中旬に開始され、計15名の支線水路水管理人(Kabu-wee)のうち、8名のKabu-weeによる情報収集作業が終了した。このKabu-weeの知識や情報を活用する方法は大変有効であることが、ブルトでの作業より確認されたので、8月以降にマリアナI灌漑地域において台帳を作成する際にも、Kabu-weeの協力を得ながら作業を進める予定である。

### 成果 3: 物流と販売 (民間)



< チャクブ組合の精米 >

#### 1. チャクブ農家組合メンバーシップ

チャクブ組合がメンバーシップ登録農家から籾を購入し、その代金を支払うことを継続支援した。チャクブ組合は、これまでに80の農家から計122トンの籾を購入し、3.3トンの精米をファーマーズマーケットへ卸し販売を開始した。

#### 2. アセルダ社メンバーシップ

アセルダ社が農家から籾を購入し、その代金を支払うことを継続支援した。アセルダ社は、149農家から100トンの籾を買い上げた。

#### 3. 国産米プロモーション

プロジェクトは、ファーマーズマーケット(FM)が国産米使用に関し契約済みのレストランやホテルが更に国産米を使用することを促すため、地元新聞に同レストランやホテルの広告を掲載することを支援した。



< FMで販売開始された新米 >

### 成果 4: 買取と配布 (政府)



< NLCのマリアナ倉庫内の買取りした籾 >

#### 1. National Logistic Center (NLC)による籾買取り

NLCによる籾買取りが7月7日にマリアナにおいて開始された。\$0.52 / kg\*という昨年より高い買取価格が、コメ生産農家の生産・販売意欲を高めている模様で、マリアナ内外から昨年より多くの農家グループがNLCへ籾を持ち込んだ(\*農家が3トン以上の籾をNLCの倉庫まで運搬し、同倉庫にて買取る場合)。7月にNLCは計329トンの籾を購入した。プロジェクトは、NLCのマリアナスタッフが買取りと支払いに必要な書類を適切に作成できるよう指導した。

#### 2. ファイル研修

籾買取りデータ管理に関する研修を、7月13日にNLC本省の調達・物流・経理部のスタッフ計11名に対して行った。同研修では、ハードコピー(紙ベース)だけではなく、エクセルの電子データによる管理についても講義と実演を行った。

#### 3. コメタスクフォース設立

プロジェクトは、タスクフォースメンバーに対して改めてタスクフォースの重要性を説明すると共に、8月に開催予定の第1回実務会議への参加を呼び掛けた。